

令和6年度



しもよねだ

第10号

令和6年12月26日(木)

小さな努力をこつこつと積み重ねていけば、いずれは大きな収穫や発展に結びつく

～二宮尊徳（金次郎）さんの教えと「けんこうツリー」～

校長 板津 英文

◎二宮尊徳（金次郎）さんの像

先日、下米田小を卒業した80歳代の方と校長室でお話をする機会がありました。話の途中、校長室から見える二宮尊徳さんの像について話題になりました。この像はその方が小学生時代にも建っていたそうです。

像について話すうちに、思い出されたのか、戦時中の小学校の様子をたくさん伺いました。苦勞されたことや悲しい思いをされたこと、そしてその時の気持ちなどを熱く話されました。胸が熱くなりました。



校長室前の二宮尊徳さんの像

◎尊徳さんの教えから

調べてみると、この像は昭和13年5月に渡邊定五郎という方が寄贈されたもので、この学校に86年も前から建っています。時間を惜しんで勉強する尊徳さんの像は、全国の多くの小学校にも建てられています。

尊徳さんは、江戸時代後期の偉人で、多くの言葉を残しています。そのうちの1つに、「積小為大（せきしょういだい）」という言葉があります。小さな努力をこつこつと積み重ねていけば、いずれは大きな収穫や発展に結びつくという意味です。素敵な言葉ですね。



保健給食委員会のけんこうツリー

◎保健給食委員会の「けんこうツリー」

保健給食委員会のみなさんが、クリスマスに合わせて「けんこうツリー」をつくって、校内に展示してくれていました。（現在は、福祉施設と保育園で飾ってもらっています。）ツリーの説明に、「みんなが元気ですごせませうように…」という言葉があります。本年度、保健給食委員会では、「歯磨き」を大切にしています。毎日の歯みがきのように「小さなことの積み重ねが、元気な体をつくることにつながります」という熱いメッセージをツリーから感じました。まさに、尊徳さんの教えの「積小為大」ですね。保健給食委員会のみなさん、とても素敵なクリスマスツリーをありがとうございました。